

1. 担当教員：石川 隆二（連絡先：農学生命科学部総務まで）

2. タイトル：良食味胴割れ耐性品種育成

3. 概要：温暖化や極端な天候など気象変動は農業に多大な影響を及ぼしつつある。青森県の主要産業である稲作においてもコメの品質に多大な影響を与える。胴割れが最も顕著な高温障害であり、主力品種への影響が懸念される。青森県で育成された品種のうち、香り米である恋ほのかは登熟期間の高温に対する耐性が強いことが明らかとなっているため、この耐性を良食味品種に効率的に導入する育種を行う。すでに青森県の良食味品種であるまっしぐらに耐性品種恋ほのかを交雑して耐性選抜を行ってきており、耐性形質を導入する際に利用する DNA マーカーが開発できている。その DNA マーカーを利用して効率よい良食味温暖化耐性品種を育成する。

#### 4. 参考資料



写真左：高温ストレス下において登熟させたまっしぐら。同じ条件において胴割れを生じない恋ほのか。



胴割れや粒形に特徴のある品種。写真左からまっしぐら、恋ほのか、Basmati370。恋ほのかは香り米 Basmati370 からの香り遺伝子導入を目的に交雑育種で育成された品種である。その際に高温登熟耐性遺伝子群を Basmati370 から受け継いだことがわかってきた。